

# 論

# 説

「ハハー あの日ローマ  
でながめた月が ソレトト  
ントネハきょうは都の空照  
らす

三波春夫が陽気に歌う五  
輪音頭が街に流れ、第18回  
東京大会は1964年10月  
10日開幕だった。当時の小  
学生でさえ60歳代である。  
セピア色と化した前回大会  
をコロナ禍の第32回東京大  
会直前に振り返るのも意義



## 宮武 剛

### コロナ禍の東京五輪

# 新たな物語を創れるか

がある。

「世界中の秋晴れをぜん  
ぶ東京に持つてきてしまっ  
たような」と、NHKアナ  
ウンサーが中継した秋日和  
のもと、最終ランナー坂井  
義則は聖火台に点火した。

45年8月6日、広島県三  
次市生まれ、早大1年生の

す目的と意義を見事に象徴  
した。

今回は、東日本大震災か  
らの復旧・復興を示す使命  
を担う。だが、炉心溶融の  
福島第1原子力発電所の現  
状は復旧にもほど遠い。開  
催を1年延期しても感染症  
の猛威は世界を覆う。「人  
吉を懸命に応援した。

られ、欧州にはビデオが空  
道、体操、レスリングの精  
鋭たち——。テレビ、スマ  
ートフォン、タブレットな  
ど、多様な形で伝えられる。  
ただし、前回大会で、最  
も感動的であったのは閉会  
式という声も根強い。

エチオピアの哲人アベベが  
独走し、追いつがる円谷幸  
吉を懸命に応援した。

400メートルランナー。広島へ  
の原爆投下の日に生まれた  
19歳がアジア初の五輪開催  
を告げる。第2次世界大戦  
での敗北と壊滅から再起し  
た国と国民の姿を世界に示

類が新型コロナウイルスに打ち勝つ  
た証として」（安倍晋三前  
首相）の狙いも砕けた。

コロナ禍の今回は、前代  
未聞の「無観客」にされる  
が、放送技術の進歩はすご  
い。無人カメラが選手と併  
走し、ドローン積載のカメ  
ラが上空から競技をくまな  
く映す。

誰を聖火の最終ランナー  
に選んだのか。どんな内容  
の式典になるのか。

前回「テレビンピック」  
とも呼ばれた。受信契約が  
1500万件を超え、主要  
競技は衛星経由で米国へ送  
0メートルランナー、御家芸の柔

難病を乗り越え泳ぐ池江  
璃花子さん、9秒台の10  
再編する物語の始まりにし  
てほしい。（本紙論説委員）

みやたけ・ごう NPO法人福祉  
フォーラム・ジャパン副会長、学校  
法人・社会医学技術学院理事長

緊急事態宣言下での今大  
会ではそんな交流は望むべ  
くもない。むしろ肥大化・  
商業化を歩む五輪を再考・  
再編する物語の始まりにし  
てほしい。（本紙論説委員）